

# 図書館便り

## 図書館長から

図書館長 松尾俊寛 (一般教養)

学生時代、論文を漁るために図書館の書庫に行くのが日課のような時期がありました。四半世紀以上も昔のことです。今のよう  
にネットはなくPDFもありませんでしたから、論文を読もうと思えば自分で雑誌からコピーをとって整理する必要がありま  
した(かろうじてコピー機はありました)。目当ての論文のとなりに掲載されている論文のほうが面白そうで、思わぬ方向に研  
究が進んでいったこともありました。誰にも邪魔をされることなく、分野の何十年分の研究成果が収められた雑誌や本に囲まれ  
て、自分の研究の方向を模索しさまよう感覚は「ああ、大学で研究している」というなんととも言えない高揚した気分になり、机  
に戻ってからの集中力に幾分か寄与していたような気がします。阿南高専の図書館も、みなさんの学生時代的一幕の記憶に残る  
ような場所になればいいと思っています。

## 教員推薦図書

先生方にお薦めの図書を紹介していただきました。



### 問うための哲学書

小川 仁志・萱野 稔人 著

NHKのEテレで「ロッチと子羊」という番組があり、よく見えています。この番組はお笑いコンビのロッチがMCで、「飽きっぽい性格を直したい」「自分の意見がなかなか言えない」などの悩みを抱える人と対話して、その悩みを世界のいろいろな哲学者の思想を基に解決しようとする番組です。その哲学者の考えを紹介する役が著者の一人の小川仁志氏。彼ともう一人の著者萱野稔人氏の対話形式でさまざまな哲学書を紹介するのが本書です。内容は、たとえば、「愛するとはどういうことか?」はプラトン、「なぜいじめはなくなるしないのか?」はスピノザ、「戦争はなくせるのか?」はカント、といったように、こちらも我々の身近な問題を哲学者の思想で解決しようという趣旨の書です。テレビでロッチをやり込めている小川氏が、本書ではけっ  
こ萱野氏にやり込められているところが面白い。

萱野氏は弁が立ちますね。ぜひ一読を。

オススメ

一般教養  
藤居 岳人  
先生より



### チベット旅行記

河口 慧海 監修

今年は新型コロナウイルスとの長い闘いが終わったかのように、世界中に人々が移動し始めました。誰だって自由に旅ができる、そんな時代に生きていくことは素晴らしいです。その昔、航空機やインターネットのなかった頃、地球は今よりももっと  
広く、簡単にはいけないところや知らないことも多かったはず。今回紹介する『チベット旅行記』は、120年前に鎖国中のチベットに日本人僧侶の河口慧海(えかい)が単独で潜入するお話です。このおじさんは目的のためなら手段は選ばないタイプの人ですね。もし、行けるのなら、霊峰カイラスに五体投地で巡礼に行きたいと思っています。

オススメ

機械コース  
奥本良博  
先生より



### ずるい考え方 ゼロから始める ラテラルシンキング入門

木村 尚義 著 現場川柳委員会 編

みなさんは、「ずるい」という言葉にあまり良いイメージは持たないと思います。しかし、「ずるい」と一言で言っても、その背後にはさまざまな意味やニュアンスがあり、「ずるい」考え方は新しい発想を生むことがあります。私は常にオーソドックスな方法でものごとの課題に取り組んでいました。あるときふと周りを見渡すと、自由な発想でものごとの課題を最短で解決する人を見かけ、「その手があったか!ずるいな」と思うことがあります。本書では、わかりやすい例を用いて、ものごとを水平方向に多角的に見る「ラテラルシンキング」という思考法を紹介しています。一般的な考え方に縛られるのではなく、「その手があったか!」と思われるような思考法を身につくことで、社会が抱える課題の解決の助けになるかもしれません。是非一読をお勧めします。

オススメ

電気コース  
内野 翔太  
先生より



### 脳の大統一理論 ：自由エネルギー原理 とはなにか

乾 敏郎・阪口 豊著

ChatGPTをはじめとするAIの発展が近年話題になっています。最新のAIはまるで人間のように賢いふるまいを見せることがありますが、基本的には、データから学習された確率を計算し、もっともらしい出力を行っているにすぎません。私たち人間は、AIとは違い、そんな確率の計算ではなく、きちんと論理的に考えて物事を判断しているはずである…最近まで私もそう思っていました。そんな常識を覆す最新の「脳」の理論をわかりやすく解説したのが本書です。自由エネルギー原理と呼ばれるこの理論では、私たちが物事を知り、考え、体を動かすといった一連の脳の働きは、すべて「確率の計算」によって行われていると説明されます。そんなはずはない、私たちの頭の中は確率などではない、と思った方は、ぜひ一度本書を手にとって考えてみることで、私たちが普段何気なく行っている知覚・認知・運動・思考・意識・情動などについて深い示唆を得ることができるかもしれません。

オススメ

情報コース  
太田 健吾  
先生より



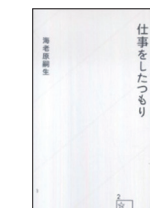
### 環境問題、 ウソとホントがわかる本

造事務所 編・著

私たちの生活の中で「冷房の温度を28℃に設定しましょう」「エコバッグを使用しましょう」といった呼びかけをよく耳にします。しかし、こうしたエコ活動はどの程度効果があるのでしょうか?もしくはそもそも本当に効果があるのでしょうか?こういった疑問を解決するために、様々な環境問題について、数値データを使用しながら、かつ社会背景も含めて説明してくれる一冊です。疑問ごとに簡潔にまとまっており、時々漫画も交えて説明してくれているため、読みやすい本になっています。教科書の内容+αの知識を身に付けたい人におすすめです。

オススメ

建設コース  
景政 悠蘭  
先生より



### 仕事をしたつもり

海老原 嗣生 著

皆さんが高専を卒業し、社会人になってから必ずぶつかる壁があります。それは、「いつも忙しいのに成果が出ない。なぜだ?」という悩みです。この悩みと格闘している時には、大抵の場合、「仕事をしたつもり」になっていることが多いです。本書では、仕事をしたつもりとはどういう状態のことを指すのか、仕事をしたつもりから脱却するためには一体どのようなことを意識すればよいかなど説明しています。私は、学生時代にこの本に出会い、日々の行動が変わりました。皆さんも興味があればぜひ読んでみてください。

オススメ

化学コース  
江連 涼友  
先生より

## 読書活動推進の試み

### 01 BINGO ゲーム

図書館ではさまざまな形で読書活動の推進に取り組んでいます。新しい試みのひとつとして、今年は夏休み期間限定のBINGOゲームを企画しました。

ご好評につき、第二弾を計画中です。今回参加を逃した人は、次回はぜひ挑戦してみてください！



### 図書館でBINGO!

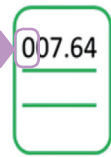
本を借りるとBINGOゲームに参加でき、BINGOを達成すると景品がもらえます。

景品には、雑誌の付録や図書館長から提供いただいた、本校の売店で使える商品券も含まれていました。

参加してくださったみなさん、ありがとうございました！

#### \* BINGOの遊び方 \*

- ① 借りたい本を選びます
- ② 本の背表紙にあるシール（分類番号）の頭番号をみます  
例：007.64のシールの頭番号は【0】です
- ③ BINGOを目指して、いろんな番号の本を選びます
- ④ 借りる本とBINGOカードを持ってカウンターへ
- ⑤ BINGO達成で景品ゲット！



### 02 ビブリアバトル!

好評のビブリアバトル、今年度もすでに2回実施しました。私(松尾)もバトルーとして参戦させていただきましたが、テーマへの思い入れが走りすぎて上手く紹介できませんでした。抑制が大事ですね。バトルはさておき、一つの本の世界にみんなで入っていく雰囲気面白いと感じています。後期にも開催予定です。興味のある学生、職員の参加を歓迎します。ギャラリーでも大歓迎!

#### ルール

- ① 各自(バトルー)が気に入った本を持参し、5分で内容や魅力を紹介。
- ② 2~3分で質問やディスカッションを実施。
- ③ 最後は参加者の投票で「チャンプ本」を決定。

#### ● 第1回 (2023.5.24 (水) 16:10 - 16:55) ラーニングcommons

バトルー	紹介本 (★はチャンプ本)
4   岡田真弥	吉田基晴『会社は田舎に限る』(講談社+α新書、講談社、2018年)
(M教員) 奥本良博	★ F・ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』全5巻 (亀山郁夫訳、光文社古典新訳文庫、光文社、2006~2007年)
3M 前田彩乃	阿川佐和子『アガワ家の危ない食卓』(新潮文庫、新潮社、2022年)
(G教員) 松尾俊寛	スティーブ・ブルサット『恐竜の世界史』(みすず書房、2019年)
ギャラリー	学生16名、教員2名

#### ● 第2回 (2023.6.27 (火) 16:10 - 17:00) ラーニングcommons

バトルー	紹介本 (★はチャンプ本)
2   ブラウン悠生	ジョン・フラナガン『アラルエン戦記』全14巻(岩崎書店、2012~2019年)
4M 豊崎陽大	★ チャールズ・エリス『敗者のゲーム 原著第6版』(日経BP日本経済新聞出版本部、2022年)
(司書) 大谷かりん	朝井リョウ『学生時代にやらなくてもいい20のこと』(文藝春秋、2012年)
3E 吉成清人	硬梨菜/作 不二涼介/画『シャングリラ・フロンティア クソゲーハンター、神ゲーに挑まんぞう』(講談社、2020年~)
3   小川未来	一条岬『今夜、世界からこの恋が消えても』(メディアワークス文庫、KADOKAWA、2020年)
ギャラリー	学生22名、教職員6名

チャンプ本  
紹介者コメント  
\*\*\*\*\*  
奥本良博先生

一生に一度、時間がたっぷりあるときに読んでもらいたい本として『カラマーゾフの兄弟』を推薦しました。読むとロシアの広大な大地が目の前に迫ってきます。